

市議会だより

第47号

平成27年(2015)10月15日発行

発行：飯山市議会

編集：議会だより

編集委員会

〒389-2292

長野県飯山市大字飯山1110-1

電話：0269-62-3111

FAX：0269-62-0005

ホームページアドレス

<http://www.city.iiyama.nagano.jp/gikai/>

E-mail:gikai@city.iiyama.nagano.jp

9月定例会概要

平成27年9月定例会は、9月1日から25日まで25日間の会期で行いました。

今定例会では、平成26年度一般会計・各特別会計・水道事業会計歳入歳出決算議案12件、平成27年度一般会計補正予算(総額6億3382万5000円の増額)、特別会計等補正予算(総額1億3626万8000円の増額)の補正予算案14件、条例案5件、財産取得についてなどの事件案7件、人事案1件、名誉市民の推薦について1件の合計40議案が市長から提案されました。

9月8日から10日の一般質問では、12名の議員が登壇し、11日、16日、25日に予算決算常任委員会、17日には総務文教、産業民生常任委員会、それぞれ付託された議案について審査しました。

最終日25日には、名誉市民の推薦について推薦議決し、教育委員会委員の任命に関する同意を求めること

委員会審査

について同意議決し、その他提出された議案についても、すべて原案のとおり認定、可決しました。また、選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙も行いました。

請願4件については、2件を採択、1件を不採択、1件を継続審査としました。

議員提案による意見書3件については全員一致で可決しました。

予算決算委員会に付託された議案は、決算議案12件、補正予算案14件、総務文教常任委員会に付託された議案は、「飯山市個人情報保護条例の一部を改正する条例」など条例案3件、産業民生常任委員会に付託された議案は、「飯山市手数料徴収条例の一部を改正する条例」など条例案2件、「財産取得について」など事件案7件、計9議案でした。

審査結果は、一部賛成多数の議案もありましたが、その他の議案については、全員一致で原案のとおり認定、可決すべきものと決しました。

飯山線SL実現、日赤医師不足対策、国民文化祭実現



江沢岸生議員

◆飯山線SL実現

【質問】JR東日本の考えはどうか。

【答弁】この秋には回答したいと言っている。

【質問】新幹線飯山駅利用者目標1日平均2600人の達成に向けてもSLは有効な手段。

【答弁】おっしゃるとおり。ぜひSL運行を実現していきたい。

◆日赤医師不足対策

【質問】福井県高浜町の若狭高浜病院が福井大学医学部と連携し、臨床研修に注力。参考になるので、ぜひ早期実地調査を。

【答弁】参考にし、日赤にも情報提供をする。

【質問】戸狩温泉の民宿のおかみさんから、体験学習の小中学生の受け入れにあたり、小児科が対応できるかどうかが毎日心配しながら仕事をしているとの投書を受けた。

【答弁】身につまされる思い。機会があれば直接会って状況をお聞きしたい。

◆国民文化祭の実現推進

【質問】国民文化祭の長野県開催実現に向けて、飯山市長が近隣首長をまとめて知事に働きかけるべき。新幹線飯山駅利用者目標1日平均2600人の達成にも資する。

【答弁】飯山市としても、今後長野県と情報交換を密にして働きかけしていきたい。



飯山駅近くSL公園のC56(9月14日撮影)

一般質問

*一般質問の内容は要約してあります。

東日本大震災の教訓

を生かすために



市川久芳議員

◆「千曲川の氾濫の危機」から市民をどう守るかについて

【質問】この8月24日に市内で開催された「千曲川信濃川(飯山・中里間)直轄河川編入連絡協議会」を傍聴させていただきました。感じることは、総会そのものが形骸化したものである。総会の後日、新潟の北陸整備局へ、次の日に上京して永田町と中央官庁へ陳情を繰り返しているだけで100年やっても同じことである。「なぜ実現しないのか。また、どうしたら実現できるか。」その検討会を実施する考えはないのか。

【答弁】この協議会とは別にも関係する組織があるので今までどおり国へお願いしていく。



昭和57年9月 千曲川氾濫による樽川堤防決壊で水没した家屋からヘリコプターで救出される人

【質問】一昨年、直轄河川への編入の必要性を科学的根拠に基づいた解りやすい資料を添えて参議院議員の小坂憲次氏へ国土交通大臣へ届けてほしいとお願ひした経緯がある。大臣に届いているか、水管理・国土保全局長のどちらかに届いていると考えている。市長は私を連れて上京することができるか。

【答弁】今までどおり、既存のいろいろな組織を通じて取り組んでいくことを考えている。

◆飯山市街地直下を走る活動層について

【質問】今から168年前、1847年善光寺地震が発生した。飯山でも人的被害として死者590人、家屋の喪失547戸の記録がある。活断層は、JR飯山線に沿って北上し、高橋まゆみ人形館の直下を走っている。市長の認識は。

【答弁】信濃川断層帯(長野盆地西縁断層帯)と呼ばれるものであり地震の周期は長いと言われているが知っているし、注意する必要がある。

学校の再編を思う



松本淳一議員

◆小学校の今後の在り方について

【質問】再編は『子どもたち』を心にすべきと思うが。

【答弁】教育の問題は子ども本人に関係するが、地域としての役割もある。地域と一緒に検討していく必要がある。

【質問】簡単な問題ではないことはわかっている。再編は長い時間がかかるので、今、行動を起こすべきではないか。

【答弁】岡山小で5年以上かけた。城南中の移転も一段落ついたので、

飯山市周辺市町村の小学校の統合状況									
	再編年度	再編前校数	再編時入学人数	1年生平均クラス数	1クラス生徒数	再編で目標したことなど			
信濃町 8600人 1491kl	H24 5 → 1	50	2	25	統合後小中一貫校				
木島平村 4700人 99kl	H22 3 → 1	45	2	22.5					
栄村 2000人 271kl	H23 3 → 2		1		H28 1校+分校				
山ノ内町 12800人 256kl	H25統合審査委員会条例案否決					H22小学校のあり方検討会			
中野市 44000人 112kl	準備中 11 → (5)					H24小中通正規模審議会設置、同H26答申			
飯綱町 11200人 75kl	準備中 4 → (2)					小中の連携強化(一貫校?)			
野沢温泉村 3700人 58kl	H19 2 → 1	25	1	25	保小中一貫教育(H25スタート):野沢温泉学園				

周辺市町村の統合の様子(自身によるまとめ)

◆自然エネルギー活用について

【質問】木質バイオマスについては、最近、塩尻市のFパワープロジェクト、三条市の木質バイオマス発電所の計画、地方創生大臣が木質バイオ先進国のオーストラリアを視察に行く等、いろいろな動きがあるようだが、市はどう考えているか。

【答弁】森林資源を活用した事業については、県の内外で取り組む自治体が増えている。飯山市でも関連事業者と調査研究を進めている。地域資源を活用することが可能になるとよいと思う。

山崎一郎議員

介護保険について



渡辺美智子議員

いて

【質問】要支援1、2の方が日常生活総合支援事業へ移行することによって、現在サービスを実施している事業所がサービスを支障なく提供するために現行の給付単価を下回ることのないように保障すべきと思うが。

【質問】1回目の発行方法の検証と購入者の地区別分析は。

【答弁】192世帯で終了し、混乱を招いたことについては反省。地区別では、飯山58件、木島41件、常盤24件となっている。第1弾については63・8割が換金され、業種別には建設44・4割、自動車23・5割。第1弾について、今後購入者へのアンケートを実施する。

【答弁】給付単価は、今年度改定の介護報酬等を参考に進める。事業所の存続、経営上の問題があるので、事業所と相談していきたい。

【質問】家庭での介護比重が増えてくるが考えられる。現在介護慰労金が年間3万円支援されているが、増額する方向で検討できないか。栄村では、年間12万円支援されている。

【答弁】過去にもそんな話が出たが、増額は考えていない。

【質問】介護状態にならないために予防事業として、運動機能向上や認知症予防事業が行われている。予防に効果があると思うが、需要にこたえられているのか。

【答弁】利用を希望する人は全員利用していただいている。

◆プレミアム商品券支援事業につ



廃校になる岡山小学校

【答弁】建物があるので地域で活性化できる後利用が望ましい。農福連携の拠点としての話があるがまだ決まっていない。具体的に進めば地域の皆さんと相談していく。

ふるさと納税は「米百俵」人材育成に活用を



高山恒夫議員

を積んでいきたい。

【質問】全国から応援をいただくふるさと納税の財源は米百俵の精神で人材育成を中心に活用すべきではないか。

【答弁】人材育成は今まで以上に飯山市にとって大きな課題。スポーツ選手の育成にふるさと納税が有効に活用できるよう具体的に検討したい。



子どもたちの夢を伸ばしていこう

◆人材育成

【質問】起業を目指す人材育成塾が始まった。具体的取り組みは。

【答弁】新幹線時代に先進的なサービスや事業を生み出していくことを支援するために開校した。専門業者に委託し4月から11月の間で実施する。現在の受講者は11名。先を見据えた取り組みとして実績

希望あふれる飯山へ



西澤一彦議員

が従事され成功されているが、訪問されてどんな感想を持たれたか。

【答弁】新しい形の農業で今後飯山でも農業と福祉の連携と言った形で取り組んでいく。

◆飯山の宝について

【質問】秋津の千曲川、川下りに参加した。晴天の中、いかだから飛び込み泳ぐ子どもたちの歓声が響いていた。飯山を南北に流れる日本一の大河、水面から見る景色はすばらしい。最上川のように船下りの調査はできないか。千曲川は飯山の大きな財産。複眼的に多面的に今後、検討していただきたい。

【答弁】過去に調査した。民間事業者の取り組みを中心に可能性を追求していく。



秋津 千曲川川下り

平和安全法制整備法案について



竹井政志議員

【質問】「国民の命を守る」ための法案だと言うが、審議をすればするほど「日本を戦争する国」に変える危険な法案であることが明らか。今国会で成立させようとしているこの法案の受けとめは。

【答弁】「戦争の方向にむかうのではないか」という国民の不安に十分な説明がされていない。今国会で決めるべきではない。



8月30日 国会を取り囲み「戦争法案廃案」を求める人たち 国会正門前

◆「新規制基準」に適合した原発再稼働について

【質問】九州電力は川内原発1号機を再稼働させた。現在、申請されている原発は全国で20基。その中に飯山から50キロの柏崎刈羽原発も

含まれている。市長の見解は。

【答弁】再稼働すべきではない。市長会等で飯山市の考え方をしっかりと伝えたい。

◆マイナンバー制度導入について

【質問】この制度は、納税や社会保障給付などの個人情報国が一括管理するもの。10月以降「番号通知カード」を送付し、来年1月から希望者には、顔写真付きの「マイナンバーカード」を発行する。情報セキュリティ対策は。

【答弁】外部から遮断されている専用のシステムで運用され、ウイルス対策のソフトを導入し、常に監視する。

◆満蒙開拓記念館・現地学習について

【質問】市長は「満蒙開拓記念館の現地学習も含めて教育委員会と連携して進めたい」と答弁。記念館での現地学習を実施する場合の課題は。

【答弁】「戦争と平和」の学習に「満蒙開拓団」のことを抜いてはならない。課題は、見学地として遠い。100人以上の見学に支障がある。

城南中学校の引越し 開校時期について



石田克男議員

【質問】城南中学校は来年の二学期、現在の飯山高校へ引越しすることが決まっている。夏休み明け前後の生徒は心理状態が不安定である。受験生であればなおのこと、保護者は心配している。それでも二学期の開校を進めるのか。また生徒への対応は。

【答弁】開校時期は変更しない。少しでも早く引越しをして、卒業生に母校という意識をもってもらう。子どもたちが安心して、楽しい気持ちで学校に通えるように配慮する。

◆雇用促進住宅の取得について

【質問】雇用促進住宅は平成28年度に市が取得すると聞いているが。



雇用促進住宅
(サン・コーポラス飯山)

【答弁】国では平成33年に廃止する旨を示した。市では入居者への配慮、また今後の使用等検討の結果、取得の方向で進めている。

◆シルバー人材センターへの補助金の増額について

【質問】今年度より、シルバー人材センターでは、今までの事業に「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を追加する。実施するには、国と地方公共団体の双方が支援を行う必要がある。検討いただけないか。

【答弁】良い事業だと認識している。木島平村と話し合いをして進めたいと思う。

◆河川敷グラウンドの井戸ボーリングについて

【質問】近年夏になると、河川敷グラウンドにサッカー少年の声が多く聞こえるようになった。また来年から合宿が急増する。グラウンドに突き井戸をできないか。

【答弁】現在の占用許可の範囲内ではできない。別途許可も可能である。また場所など検討させてもらいたい。

議会運営常任委員会

平成27年8月18日～19日

福井県 勝山市
石川県 七尾市

●視察の目的について

議会運営委員会では8月18日～19日に、福井県勝山市と石川県七尾市を視察で訪ねました。本年度の視察のテーマは、議員の倫理に関する条例等と議会の情報発信の2点。うち、前者については、議員は市民全体の代表者として市民に信頼され、常に市民の信託に応えていかなければならないことから、まずは議員として遵守すべき根本的な事項を改めて文章化していうと、現在飯山市議会では議会改革検討委員会を中心に検討中であり、その議論の参考にさせていただきたいということで設定しました。

●福井県勝山市議会について

勝山市議会の議員の倫理に関する規定の取り組みは、かつて建設業者から多くの議員が選出されていたことから、平成7年に勝山市議会議員の政治倫理の高揚に関する決議を可決し、自身の戒めを含め、特に議員の兼業禁止事項について確認し合ったところから始まっています。その後、福井県内の他の市の状況等も勘案し、平成19年に

勝山市議会議員政治倫理条例を制定しています。

●石川県七尾市議会について

七尾市議会では積極的に議会改革を進め、平成14年には議員の政治倫理に関し、その行動規範等について規定する七尾市議会議員政治倫理条例を制定しています。さらに議会アンケートなどを経て、平成24年には議会運営の基本的事項を明文化し、それを実行することとなった議会の最高規範である七尾市議会基本条例を設けるなど先進的な取り組みをしています。

●議員の倫理の規定について

両市議会の議員政治倫理条例は、制定する目的や議員の責務を示し、次に肝となる部分の議員が遵守すべき倫理基準を定めています。制定当時の世相などから公共事業等の請負契約に対する遵守事項が特に厳しい内容となっています。

当市議会においては、昨年12月の議員改選により新たな議会構成となったことや、最近の社会情勢はじめ議会に求められる役割などを踏まえ、視察先の先進的な事例を大いに参考にして、飯山市議会らしい議員の倫理に関する規定を議員全員の討議により作り上げていきたいと考えています。

委員長 久保田幸治

請 願 審 査

- ◇請願第3号
「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願 《採択》
- ◇請願第4号
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書提出に関する請願 《採択》
- ◇請願第5号
米価暴落対策の意見書の提出を求める請願 《不採択》
- ◇請願第6号
子ども・障がい者等の医療費窓口無料化を求める県への意見書の提出を求める請願 《継続審査》

名誉市民の推薦について (議案第120号)

☆峰村 貞子 氏
(声楽家：嶺 貞子)

《推薦議決》

意 見 書

- ◇意見書第3号
米の需給・価格対策と農業経営の安定を求める意見書 《採択》
- ◇意見書第4号
「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書 《採択》
- ◇意見書第5号
国の責任による35人学級推進と教育予算の増額を求める意見書 《採択》

編集後記

◇9月定例会では理事者が議員に質問するという珍しい場面がありました。「議員は自分の質問する内容を十分調べ理解したうえで質問するものだ。」との学者的お話もあります。質問するにあたっては心すべきことと思いました。

また、一般質問は「市政一般に関する質問」の場であり、「個別の課題に関する質問」の場ではないことを理解し質問すべきとも思われました。

さらに、一般質問中の質問者以外の議員の中に長時間目をつむって聞いている人の多いことも気になりました。寝ている訳ではないと思いますが、「李下冠を正さず」とのことわざもあります。お互い議場での態度は気をつけたいものと思いました。(渋川芳二)

議会だより編集委員会

委員長
副委員長
委員

久保田幸治
小林喜美治
山崎 一郎
高山 恒夫
渋川 芳三
上松 永林
佐藤 正夫

とっても簡単 —会議録の検索と閲覧—

飯山市議会ホームページにある会議録検索システムをリニューアルしました。
より見やすく、操作しやすくなり、また新しい機能が加わりました。
会議録閲覧やキーワード検索の他、新しく発言集も作成することができます。
その他議会用語集も加わりましたので、ぜひご利用ください。

